

# 日本洋書協会会報

Vol. 33 No. 7 (通巻386号) 1999年7月

## 理事会報告

6月21日(月)

1. 指名理事2社社長の出席を得て、新体制が発足した。
2. 会員増強委員会委員長及び副委員長を選任した。  
委員長：齋藤理事(UPS)  
副理事長：鶴 理事(東亜ブック)  
早急に委員会を編成し、勧誘活動を開始する。
3. 東京国際ブックフェア99へのBOOK-OFF出展等をめぐる実行委員会論議について、渡辺副理事長より報告があった。
4. 新年度第一回セミナーを企業図書館専門家を講師に招いて7月下旬に開催する。(広報渉外委員会)
5. 2000年版以降のDIRECTORY電子化基本方針に関する同委員会大八木委員長代理及び飯嶋委員の説明を受けたが、必要度合いを更に調査することとした。
6. 海外関連諸機関にも名称変更挨拶状を送る。
7. 新年度雑誌購読契約に関するエルゼビア社の新方針について、同社深田社長に会員対象の説明会を依頼する。
8. 在阪会員との懇談会を6月11日に大阪市内で開催したことが事務局長より報告された。

## 海外ニュース

### BAKER & TAYLOR, YBP

#### (Yankee Book Peddler)の一部を買収

BAKER & TAYLORは、学術系専門図書館への販路拡大政策の一環として、同社のAcademic Services

UnitをYBP(Yankee Book Peddler)と合体させる予定。YBPは、AcademicおよびResearch関連の専門図書館を対象に書籍販売・流通サービスを行っている。新しい学術専門サービスのユニットはYBP LIBRARY SERVICESという名称で、BAKER & TAYLORの傘下におかれる。買収金額などは明らかにされていない。この買収には、YBPのYankee Rights Management部門は含まれない。

YBPの本社および300人の従業員を、現在のニューハンプシャー州Contoocookから移動させるか否かについては未だ決っていない。YBPはまた、LINDSAY & HOWESという名称で、イギリスGodalmingでも業務を行っている。

BAKER & TAYLORのMr. James Ulsamer, Presidentは、YBPを「専門図書館へ書籍および情報提供分野でのトップクラス」と捉え、「この新しいユニットによりBAKER & TAYLORが学術書販売分野で第一位になった」と語っている。Mr. Ulsamerは、YBPがリーダーシップを取っている「テクニカル・サービス、認証プラン、書誌情報マネジメントなどは、B&Tの流通業務を強化する上で力になる。我々は学術市場に提供できる新しい商品を開発することもできる。両社は合体するべくして合体したのだ」と言う。

YBPのMr. Glen Secor, CEOによれば、両社はいくつかの部門を統合させ、さらに、B&Tの電子的流通業務およびPrint-On-Demand業務を進展させるためYBPのプランを付け加える予定であるとのこと。

PW DAILY FOR BOOKSELLERS (JUNE 24, 1999)

## 目次

理事会報告・海外ニュース	1	新委員会・うちの会社	3	新発見が多いCOD第10版	6・7
新理事就任挨拶ほか	2	フォーティラブ合宿報告	4	広告	8
		出版文化史遺選(3)	5		

## 就任のご挨拶

改正規約により新たに設けられた副理事長および指名理事の方々に、就任の弁を語っていただきました。

### 渡辺副理事長〔日本洋書販売配給㈱〕



『新生日本洋書協会の発足に当たり、副理事長の大役を仰せつかりました。立派な実績と豊富な経験をお持ちの先輩が大勢いらっしゃる中で、若輩の私ほどの程度お役に立てるか甚だ疑問ですが、鈴木理事長のご指名

とあらば、微力ながら協会のために力を尽くしたいと思っております。特別委員会の皆さんの熱心な討議と、その答申を受けての理事会における検討、そして規約改正に至る過程で提起された問題は、当協会をいかにして会員の皆さんにとってメリットのあるものにしていくかということでした。皆さんの役に立つ協会ということを念頭に置き、理事長を支えて活動していきますので、どうぞ皆さんも色々とお知恵をお貸しください。』

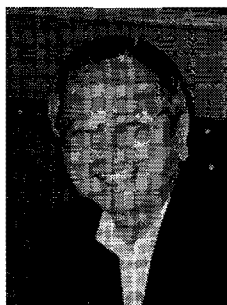
### 坂下理事〔北尾書籍貿易㈱〕



『40年前、群馬の片田舎から出て来た少年は、19番線のチンチン電車に乗り、日本橋の丸善でペーパーバックを買いました。生まれて初めて手にした洋書をろくに読めもしないのに、なんとも誇らしく偉くなったような

気分になりました。はからずもこの度、当協会の理事に推され、往時をしのび感慨ひとしおです。もとより微力ではありますが、少しでもみなさまのお役に立てばと念じているこの頃です。』

### 鶴理事〔㈱東亜ブック〕



『過日戎井理事長代理、高橋事務局長ご両名のご訪問を受け、鈴木理事長及び理事各社の理事推薦のご意向を承り、辞退する理由も見当たらず、協会の今後の発展に多少なりともお役に立てればと思い、この度理事の大役をお引き受け致しました。当

社の入会は1972年4月、文化厚生委員会72会ゴルフ第1回発足の年でした。今後も会員皆様のご協力を得て、楽しい日本洋書協会にたく努力する積もりです。宜しくお願い致します。』

### お知らせ

#### 事務所を移転しました。

会員名：㈱三省堂書店 洋書仕入管理課

新住所：〒123-0872

東京都足立区江北7-11-8

㈱三省堂書店 ロジスティクス1F

Tel : 03-3896-6332

Fax : 03-3896-6331

E-mail : ssdimport@pep.ne.jp

業務開始日：1999年7月12日

会員名：ワイリー・ジャパン

新住所：〒102-0073

東京都千代田区九段北1-3-3

九段下東急真サクラビル6F

Tel : 03-3556-9762

Fax : 03-3556-9763

業務開始日：1999年7月21日

## エルゼビア社説明会

先般エンゼビア・サイエンス㈱より、2000年の雑誌予約購読から日本円建て価格を導入する旨の通告がありましたが、この新方針は雑誌輸入・販売業界に少なからぬ衝撃を与え、多くの会員が危機感と不安を募らせました。

この状況に鑑み、理事会はこの新方針についてより詳しい説明を同社に求めることとし、去る7月1日(木)に同社深田社長のご出席を得て、説明会を開催しました。当日は会員27社43名が出席、遠路大阪からも3社が来会され、この問題に対する関心の強さが窺われました。

説明はパワーポイントを使用して、エンゼビア社雑誌刊行事業の推移と現状の解説に始まり、新しい価格体系導入に至る経緯と同社の意図が披瀝されましたが、海外出版物の円売価設定に係わる日本の伝統的な手法と考え方を改めざるを得ない、その先駆けになる事態であることが実感されました。

(HT記)

## 1999年度 JAIP 委員会編成

委員会名	委員長	副委員長	委員
総務	西川 統 (医学書院)	松浦 拓己 (丸 善)	高橋邦夫(洋販) 田中庸夫(海外出版貿易) 鶴 竜次(東亜ブック) 平岩 寧(アカデミアM) 細川政敏(UPS) 山縣彌栄子(内外交易)
会報	杉山 明 (日 貿)	平岩 寧 堀井 康 (ミロブック)	池田篤治(極東書店) 石村善造(カンダブック) 臼井英夫(教文館) 川原勝洋(ピアノソ) 昆野哲郎(丸善) 田村 隆(北尾書籍貿易) 長戸恵子(伸興通商) 沼尻 卓(三省堂) 村山俊哉(LWW 医学書院)
広報渉外	清水 弘文 (雄松堂)	皆川純一郎 (H・J)	伊藤正子(イタリア書房) 木原健策(東京洋書) 鶴 竜次 長戸恵子 成瀬 功(太陽洋書) 沼尻 卓 平野洋二(LWW 医学書院) 小松崎敬子 細谷愛子(B・ホソヤ) 矢部暁一(丸善) 山川真一(ユサコ) (絵本の家)
事業	大倉 光弘 (洋 販)	和田 周平 (丸 善)	赤嶺和男(マイブック) 雨宮孝行(タトル商会) 小野春夫(ペンギン) 尾内昌弘(洋販) 梶沼雅路(雄松堂) 小出 毅(日貿) 佐川美貴夫 (三善) 村上直隆(ナウカ)
ディレクター	山川 隆司 (ユサコ)	東篠 巖 (南江堂)	飯嶋 勇(ユサコ) 桑原七男(医学書院) 正田 実(丸善) 関 浩二 (小野包装)
文化厚生	斎藤 純生 (UPS)	村山 新吾 (ゲ-テ書房)	上原鉄男(友隣社) 川原孝人(UPS) 小松守雄(太陽図書貿易) 佐々木紀夫(雄松堂) 柴田厚生(東光堂) 西山久吉(西山洋書) 鶴 三郎 宮川 修(丸善) 和田 茂(大洋交易) (東亜ブック)
会員増強	斎藤 純生	鶴 三郎	池田篤治 川原孝人 佐川美貴夫 佐久間祥五(雄松堂) 松浦拓己 森本孝行(ユサコ)

【敬称略】

## うちの会社

### 株式会社 東京ブックランド

東京都文京区大塚3-3-3 遠州ビル

Tel : 03-3942-1102 Fax : 03-3942-0103

書籍の中でも児童書、絵本を中心に輸入卸を始めて早20年。神田小川町/池袋を経て、大塚に本拠を移し現在に至っています。

絵本といっても、子供向けの絵辞典から一般向けのデザインの秀逸な作品まで幅広く、購買層は様々です。小学校の英語教育への関心が高まる中、入門に最適な洋書絵本の役割を感じる一方で、若い女性を中心とした雑貨感覚の需要も見逃せません。近年は、洋書の絵本を飛び出して活躍するキャラクターも多く、その傾向も多様化しています。

英語圏の出版物が主体ですが、特徴のある独自の絵

本を含め、在庫タイトルは一万点以上となり、管理には頭を傷めています。曖昧な表紙の記憶での在庫照会で該当の絵本を探し出す事もあり、それも楽しい作業です。

多くのメディアの出現や、活字離れが危惧される中、手の中に収まる暖かい質感や、懐かしいインクの匂いは絵本ならではの世界です。

子供の頃に親しんだ絵本のオリジナルに癒される、そんな部分を担っていかれると思っています。

山田 勝彦

## フォーティ・ラブ（テニス同好会） 合宿報告

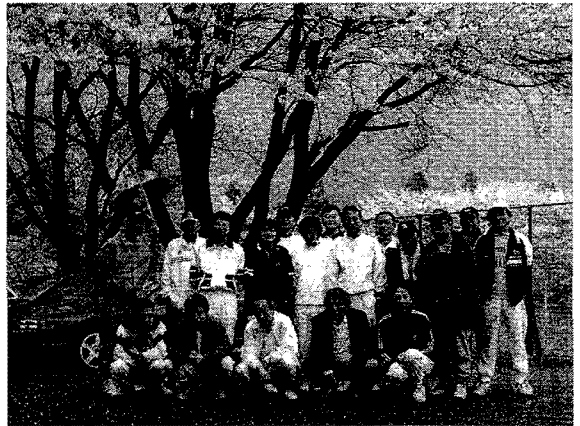
### 津久井湖畔「プチ・ヴィラ」1999. 4.10（土）

4月のフォーティ・ラブ合宿は、神奈川県津久井湖畔ペンション「プチ・ヴィラ」で行われ、前夜からの宿泊組数名をあわせて総勢25名が参加しました。前日からの曇り模様の天気の中、満開の桜の下で午前9時から始まり、練習やゲームを楽しみながら親睦を深めましたが、正午近くになって案の定ぼつぼつと降り始め、少し早めの昼食をとることとなりました。少々アルコールと、心のこもったごちそうを楽しみながら、天気が回復することを祈りましたが、期待むなしく雨は桜を打ち続けるばかりでした。そこで幹事さんの機転により、反省会&親睦会に急遽切り替わり、テニスの話はもちろん仕事や趣味など、多方面にわたって和気藹々と語りあいました。通常ならば5時までテニスをした後、みんなで夕食をとってから解散となるのですが、かような事情により4時過ぎには自由解散となりました。しかし午前中だけとはいえ、ウォームアップからゲームまで十分にテニスを楽しむことが出来ましたし、親睦会では諸先輩方から面白くためになる話を聞くことが出来、大変に中身の濃い時間を過ごせたと思います。

### 箱根・明神平「サニーパーク」1999. 6. 5（土）

6月のフォーティ・ラブ合宿は、みどりまばゆい初夏の箱根で行われ、宿泊15名、日帰り1名が参加しました。前回4月の合宿とは打って変わって好天に恵まれ、明神平のテニス・リゾート「サニーパーク」では、午前10時の開始前にコートに出た時には、すでに少し汗ばんでいました。軽いウォームアップの後、各人数ゲームをこなして、昼食を挟んで夕方まで汗を流し、続いては「ホテル強羅館」でゆっくりとお湯に浸かってから、待ちに待った宴会です。みなさん少々（多々？）のアルコールのせいもあり、とてもフランクに会話を交わし、大変楽しい時間を過ごしました。しかもこの日はフレンチオープン女子決勝、グラフ対ヒギンス戦の衛星中継があったのですから、テニス談議にいつそう花が咲いたことは言

うまでもありません。また旅館の下駄をならして温泉街の風情を楽しんだり、自由解散後に近辺で遊んでいった人もいたようで、テニスと箱根を満喫した今回の合宿でした。



### 次回フォーティ・ラブ合宿

#### 野田ロイヤルSC・テニスクラブ 1999. 8.28（土）

例年、4、6、8、10、12の各月に催されるフォーティ・ラブの合宿も、今年の折り返し点の第3回目となりました。年5回の合宿には、毎年約100名を超える方が参加しています。たいていは金曜日の夜に宿泊して、土曜日一日テニスを楽しみ、バーベキューなどで夕食をとった後に自由解散となりますが、もちろん日帰りもOKですし、アクセスについても、参加者同士の好意で極力便宜をはかっています。また初心者の方、経験の浅い方にはミニスクールが開かれ、基礎からテニスを楽しむことが出来、とても充実した内容になっています。会長の西沢さん（LWW 医学書院）や、いつも幹事の労をとってくださる柴田さん（東光堂）、室伏さん（丸善）をはじめとして、テニスだけにとどまらず大変魅力のある方々が、たくさんいらっしゃいます。これを目にしてちょっと面白そうだなと思った方、昔少々だけやったことがあるけどもう何年もラケットなんて握ってないなという方、年齢性別全く関係ありません。是非参加してみたいかたがでしょうか？

TBL RICKY

## 明治初期の目録に見る洋書〔9〕

丸善・本の図書館 鈴木陽二

## ◆明治9年洋書リストに見る輸入の状況(9)

## 【マコーリ卿と明治の思潮】(続き)

徳富蘇峰は明治20年に民友社を設立し、アメリカの雑誌『ネイション』に倣って総合雑誌『国民之友』を創刊した。この雑誌は「政治社会経済及文学之評論」という副題を付しているように、明治31年の廃刊まで近代文化創造への牽引役を果たし、明治中期の政治運動、新しい社会形成、あるいは思想界・文芸界に大きな影響を与えた。蘇峰はさらに、明治23年に国民新聞社を設立して日刊紙『国民新聞』を創刊した。この新聞は息が長く、太平洋戦争中の昭和17年に『都新聞』（『東京新聞』の前身）と合併するまで存続したが、明治の史家として著名な竹越与三郎（三义）はこの新聞に拠って平民主義思想を鼓吹した。彼もマコーリに強く影響された史家で、一時群馬前橋教会に開校した英学校で教師をしていたとき、教科書にマコーリの『エッセー』を使用したという。明治23年にはクロムウェルの伝記を著して史学者としての名声を確立し、その翌年には主著『新日本史』を民友社より刊行を開始して一年半のあいだに7版を重ねるほど好評を博した。彼はこの著作でマコーリを範とした叙述スタイルをとり、日本のマコーリと称された。この本によって彼はマコーリの革命観にもとづいた論旨で明治維新を「乱世的革命」としてとらえ、明治政府や学界一般の維新観と異なった在野の史観を開陳した。

19世紀中葉、イギリスのマクミラン社は『イギリス文人伝』(English Men of Letters) という叢書を刊行して本国でヒットしたが、日本でも、例えばバイロンやシェリー、ワーズワース、ロセッチ、ブラウニング、そのほか多くのイギリスの著名作家を含む手頃なシリーズとして好んで読まれ、イギリス文芸の吸収の上で大変役立ったということである。蘇峰の民友社ではこの企画にヒントを得て『拾貳文豪』叢書を刊行したが、第1巻のカーライルに続いて竹越の執筆によって第2巻『マコウレー』(明治26年)が刊行された。竹越はこの著作によって傾倒していたマコーリを詳述し、マコーリが本国イギリスで、あるいは日本で広く読者を魅了した特質を分析し論じている。

マコーリの著作は、その平易な文体と美しい表現により各方面で英語学習の教本として使用され、また原書も広く流布したが、翻訳も多数刊行された。彼の著作の翻訳は、自由民権運動のからみで政治小説が大流行をした時期と重なったためか、政治物で始まった。最初の翻訳書は、明治15年の山田良作訳『印度顛覆史 上』で、続いて明治18年には末広重恭訳『印度征略史 原名・クライブ公伝』など、インドの植民地化と統治に辣腕を振ったロバート・クライヴの伝記とインド王政に関する著作が翻訳刊行された。また、クライヴと同じく強引過酷にインド統治政策を進めたワーレン・ヘースティング（初代ベンガル総督）の伝記もいくつか翻訳され、それらインド関係書は、明治21年に5種類、明治22年に3種類、明治23年にも3種類、さらに26年から31年にかけてにも4種類と多数翻訳された。インド物以外では、明治19年叢菊野史訳『春鶯女史之伝』、明治20年土岐儀訳『経国龜鑑 一名・チャタム伯ウィリアム・ピット伝』、同年吉田直太郎訳『批評の鏡 弥兎頓論』、同年越川文之助訳『日耳曼政略史 一名・弗勒徳力大王論』、明治25年には「英国馬高礼原著、日本若松仲通訳述」『波良武氏憲法史評論』が刊行されたが、これは『エディンバラ・レビュー』に掲載されたマコーリによるヘンリー・ハラム著『イギリス憲政史』(1827)の批評を翻訳したものであった。また同年河田泰之助訳『フレデリック大王論』が翻訳刊行されたが、こういう翻訳の多彩さにもマコーリの評判の高かったことが感じさせられる。しかし、主著である英国史の翻訳は、わずかに革命の部分が中村経一郎の訳で全3巻が旺世社から出版されたにとどまった。完訳が手がけられなかったのは、原作が未完に終わったこと、あるいは大著過ぎたことが原因なのだろうか、理由は判然としない。

一方、原著の復刻、または英文単行本も多数出版されて、国立国会図書館の明治期の目録を見ると35点も収録されている。英語学習の教材としていかに広く浸透していたかが理解できよう。〔参考文献：今井宏『明治日本とイギリス革命』／佐藤孝己「明治啓蒙期とマコーリ」『英学史研究』第5号／木村毅『丸善外史』〕

## 新発見が多い COD 第10版 (1999)

島岡 丘

曇みと辞書は新しいほどよいと一般的に言えるが、4年前に COD の第9版がでたのに今年の6月9日に新しい10版がでたということで、その早さに驚かれた人も多いと思う。発行になるまで top-secret であったらしく、発売日まで、関係者以外、私も含めて全く知らなかった。

1995年には CIDE (*Cambridge International Dictionary, Harrap's Essential English Dictionary of English*)、CEED (*Chambers Essential English Dictionary*)、さらに HEED (*Harrap's Essential English Dictionary*) が加わり、1998年には NODE (*New Oxford Dictionary of English*)、また、BNDA (*The Basic Newbury House Dictionary of American English*) も出版された。この状況を皮肉って辞書戦争 (dictionary war) ということもあった。

私自身はアメリカ系辞典でウェブスターの辞典は『学燈』に書評などを二三次書いたことがあったが、新しい辞典を手にするのは楽しみの一つである。新しく出版された COD 10版は、前の第9版とレイアウト、定義法、見出し語などかなり異なっている。その主な理由は編集主幹が代わったことなのかもしれない。つまり、第9版は Della Thompson であったが、今回の編集主幹は NODE の編集主幹と同じく Judy Pearsall である。分量は NODE が2152頁もあったが、COD 10版は1666頁で、内容形式とも NODE の小型版という感じすら与える。

COD は東京教育大学時代、英語の演習には欠かすことは出来なかった。辞書を予め引いて調べておかなければ、怖くて授業に出られなかった。今の学生ののんびりした態度と異なり、教授者も COD などに書かれていることはほとんど全部頭に入れており、教室にはテキスト1冊しかもってこないのである。教授者は「さあ、どこからでもかかってこい」という真剣勝負の態度であり、予め当てられた学生は徹夜に近く英英辞典で下調べして授業に臨むのだが、「道場破り」どころではなく、稽古をつけてもらえるのがせいぜいだった。

COD 10版は、引きやすくした工夫が見られる。見出し語はゴシック体としているのは他の辞書と同じだが、品詞の記号と意味区分の番号もゴシック体に見やすくなっている (●n となっていれば名詞)

NODE の見やすさを新しい10版にかなり持ち込んだ感じである。

辞書を新しく編集するというのはいかほどの動機なのだろうか。Webster 辞書のはしがきには、生きた言葉は常に変っていくので、それを絶えず捉えていくのは辞書編集者の務めだと記している。Webster の出版記念パーティが開かれた時のことである。一人の客は「出版おめでとうございます。ところでこの次の改訂はいつから始めるのですか」と編集者に尋ねたところ、「今晚から早速改訂の作業に取りかかります」と答えたそうである。辞書編集はことばを調べようとする熱意と絶え間ない努力がいるようである。

さて、COD の9版になくて10版に入った言葉にはどんなものがあるだろうか。その主なものをまずジャンル別に見てみよう。

- 1 多いのはコンピューター関係の新語である。  
fabless (<fab [ricate]) マイクロチップス会社  
firewall コンピューターによる防御体制  
flic (<flick, film) アニメのファイル  
hot key すぐにアクセスできるキー  
immersive 三次元コンピュータ画像  
JPE=Joint Photographic Experts Group  
key card 磁気入力したカード  
knowledge worker 情報専門職  
LISTSERV インターネットからの特定情報利用者  
near money いつでも現金化できる資産  
phreaking 電話通信回線に侵入すること  
portal インターネットがリンクするアドレス提供  
quantum computer 情報を蓄える特殊なもの  
Webcast インターネットで送られる実況ビデオ  
Y2K=year 2000
- 2 生物学や化学物理学関係の研究成果が反映してさらに新しいことばが加わった。  
big crunch 大宇宙の収縮  
cereology (農業の神 Ceres) 農作物縦断的研究  
cookie cutter (修飾語として) 大量生産の  
consilience 異なる専門分野間の共通接近法  
Maxwell's demon (物理) 分子の速度調製で生まれる特定温度の実現  
patera 惑星の浅く窪んだ地形  
Red Queen hypothesis 肉食動物と餌食の攻防説  
YAC=yeast artificial chromosome

### 3 健康への意識が高まり、医療関係のことばやスポーツ関係のことばが新しくいくつか加わった。

anorgasmia オルガニズムに達しないこと  
autotransplantation 体内の細胞組織の移植  
dideoxyinosine AIDS 特効薬  
enculturation 他文化圏の常識を徐々に獲得する  
extra virgin オリーブオイルの一級品  
Celebra 気管支炎の新薬  
colonic irrigation 大腸洗浄治療  
heartsink patient 理由の分からない慢性病の患者  
GM=genetically modified  
greenwash (<whitewash) 環境保護のイメージをPR する組織的な誤情報  
hands-free 手を使わないでできる(電話など)  
ibogaine コカインまたはヘロイン中毒者の治療剤  
JET=joint European Torus  
kundalimi (ヨガ) 女性の脊椎基の潜在的な力  
learned helplessness 無力感  
lifestyle drug 生活の質的向上させる薬  
neurolinguistic programming 自己意識、感情や精神の働きを変える治療  
Norplant ([levo] nor [gestrel im] plant) 不妊治療  
oxygenbar お金を出して純粋な酸素を吸うところ  
quad bike 大型4輪のオフロード用の乗り物  
ranch dressing 白いドレッシングの一種  
shaken baby syndrome 揺られた幼児徴候  
statin 血液中のコレステロール値を下げる新薬  
twelve-step 12段階の中毒患者の回復プログラム  
Viagra 究極的な生活様式の薬品  
viatical settlement 不治の病のものが存命中に保険会社を通して死亡時に第三者に支払う契約  
Xenical 肥満防止の薬  
xenotransplantation 異品種間の臓器移植  
zorbing 中が透明な球で丘を転がり降りるスポーツ

### 4 社会的・経済的な不安、雇用情勢、性的意識、コンボの虐殺がきっかけで起きた戦争に関するものもある。

docusoap=documentary+soap  
croning (<crone)  
biopiracy 植物や動物を発展途上国で売ること  
environmental audit 緑化運動の評価をする組織  
footfall 特定時間に来店する人数。

imagineer 超空想的技術のデザイナー  
Kosovar (<Kosove) コソボに住んでいる人  
me-generation 自己中心的物質主義の世代  
Microcredit 発展途上国での低利子貸し出し事業  
mindshare 消費者の製品に対する意識  
monopsony 買い手が一人の市場  
morphic resonance 連鎖的な出来事  
omnisexual 複数性的傾向  
portfolio career 短期雇用契約で働くこと  
queer (いい意味の) 同性愛者  
splatterpunk 暴力あるいはポルノを扱う分野  
third way (政治) 両極端を避けた第三の選択  
zero tolerance 法律の厳格な適用

### 5 人間が自由時間が増えて趣味で楽しむ人も増えたこともことばに反映している。

bardolatry シェクスピアの過度の称賛  
slan 詩の入賞コンテスト(応募者の作品は集まった人たちが判断する)  
Trustafarian (Trust Fund+Rastafarian) 簡素なエスニック様式をする裕福な若者  
wildcraft 野外から薬草、菌類などを集めること  
xeriscape 不毛地帯の景色を描くこと  
以上のほかには、bitching (すばらしい)、blokeish (型にはまったことしかしない男性)、disinterested (興味がない)、dumb (愚かな(=stupid))、ce=oh (<北方イギリス方言)、ohnosecond (<OH, no! [just a] second! 違うボタンを押してしまったときなど)、oy (または oi! 人の注意を引くときの感嘆詞)、24-7 (24時間)、undercast (三枚役者に役を与えること)、upsized (拡大したりより複雑にする) などがある。

新語は無から生じるのではなく、同一語で意味を新しく加えたり、語と語を新しく結びつけたりすることが多い。外来語も若干付け加わっている。インターネットの時代では、新語の流行の速度は速い。これを捉えていくことは、日本の将来にとっても大事なことであろう。

ことばをどう定義するかということも興味あるテーマである。日本での英語教育は学習者が日本語がわかるという前提で行われているが、国際化がすすむと英語を英語で説明する必要が出てくる。そうなると英英辞典がもっと活用されるようになるのだが。

(茨城キリスト教大学教授)

# The Cochrane Library

このCD-ROM (The Cochrane Library) は、コクラン共同計画の主たるアウトカムであり、エビデンスに基づく医療 (evidence-based medicine) の情報インフラストラクチャーとなるものである。

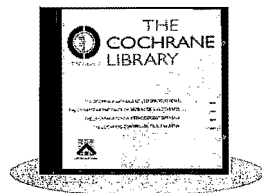
コクラン共同計画は1992年にイギリスでスタートした医療技術評価の世界的プロジェクトであり、750件を越すレビューが完成または進行している。医学のあらゆる分野のシステムティック・レビュー、すなわち、ランダム化比較試験 (RCT) を世界中から収集し、質評価とメタアナリシスを行い、3ヵ月ごとに更新して届けるというものである。また、現在、世界に15ヵ所のコクランセンターがある。

それらの仕事をまとめたものが「The Cochrane Library」である。3ヵ月ごとに最新版が発行され、最新の情報が届けられる。このライブラリーには以下のデータベースが含まれる。

- 1) CDSR: コクラン共同計画による各トピックごとのレビュー (メタアナリシスのグラフなど)
- 2) CENTRAL: 世界中のRCTのリスト (MEDLINEなどの中のRCTを含む)
- 3) 他の研究者やグループによるレビューのリストとアブストラクト、などである。

このCD-ROMによってコクラン共同計画の全体像が把握でき、また最新のエビデンス (科学的根拠) に基づく医療が可能となる。

年4回アップデート。



●年間購読価 (税別)	CD-ROM (Windows)	Internet (Windows & Mac)
	¥36,000 (個人) ¥48,000 (団体: Single User)	¥40,000 (個人) ¥80,000 (団体: Single User)
	¥84,000 (団体: 2-5 Network License)	¥96,000 (団体: 2 Network License)
	¥128,000 (団体: 6-10 Network License)	¥136,000 (団体: 5 Network License)

## Best Evidence 3

Linking Medical Research to Practice

1999

ACP Journal Club 1991-98の8年分と Evidence-Based Medicine (1995-98)の4年分を収録。

临床上のいろいろな問題点を解決するための基礎的情報や、最善の臨床処置決定に必要なエビデンス (科学的根拠) を提供する。

\*ハイブリッド



●年間購読価 (税別)	¥23,000 (個人)	¥34,000 (団体)
-------------	--------------	--------------

★価格・内容は予告なく変更される場合があります。価格に消費税は含まれておりません。



日本総代理店 (株) 南江堂洋書部  
〒113-8410 東京都文京区本郷3-42-6 ☎(03) 3811-9957  
E-mail: nkdyosho@qb3.so-net.ne.jp

1999年7月 通巻第386号 日本洋書協会 編集者 高橋 紘  
☎103-0027 東京都中央区日本橋1-21-4 千代田会館5階20号室 ☎(03)3271-6901 FAX.(03)3271-6920

印刷所 = 藤本綜合印刷株式会社